



熊本脳神経外科病院 広報誌

2017

# このは

Kumamoto

Neuro surgery

Hospital

創刊号



創刊に寄せて



病院長  
冬田修平

皆さま、こんにちは。熊本脳神経外科病院院長の冬田です。

今回、患者様、医療・福祉機関の皆さまをはじめ、地域の方々にご病院の事をより知っていただき、身近に感じていただきたいとの思いから広報誌「このは」を作成いたしました。

突然発症した脳卒中急性期においては、生命に関わるのみならず発症後の生活の質に大きな影響を及ぼすことがある為、脳神経の診療には発症間もない急性期のスピード感に加え長期的な視点も欠かせないと考えております。当院は脳神経外科の専門病院として、安全で質の高い健全な医療の提供を行うべく、24時間365日救急診療体制を整え地域医療に貢献できるように努めています。

その中で、当院の理念を「信頼」と「安心」とし、患者様、地域の医療・福祉機関の皆さまとの信頼関係を大切に、丁寧な診察と説明、患者様ご家族の皆さまに寄り添う心を大切にしています。

これからも、当院の理念を遵守し、地域の皆さまの健康を守り医療ニーズに応えていけるように職員一丸となって努力して参ります。今後共よろしくお願い申し上げます。

# 熊本脳神経外科病院について

私ども熊本脳神経外科病院は、昭和51年に西日本初の脳神経外科専門病院として開設し、以後40年にわたり、地域に根ざした診療を行ってまいりました。対象となる主な疾患は、頭痛・めまい・物忘れといった症状から、頭部外傷・脳卒中・脳腫瘍のように高度な専門性を要する疾患にまで及びます。また一方で、24時間365日救急患者を受け入れる二次救急病院としての使命も担っております。

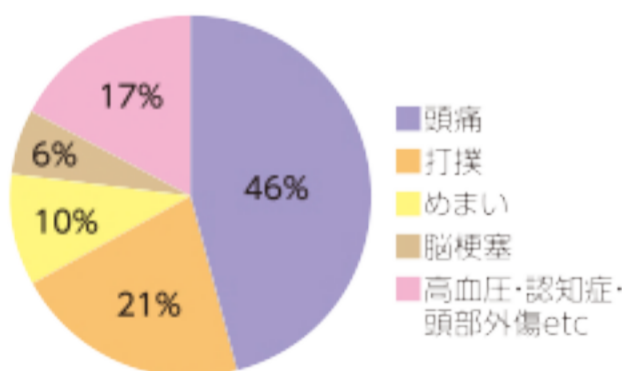
日々の診療の中心となり、病院を統率するのは、脳神経外科専門医3名、救急科専門医1名、放射線科専門医1名からなるチームです。MRI・CT・脳波検査等の高度な医療機器を駆使し、早朝診断・早期治療を念頭に診療を行っております。また手術は、慢性硬膜下血腫に対する穿頭血腫除去術をはじめ年間約60件行っております。それぞれの医師が専門性を発揮しながら、他の医療スタッフとのチームワークを大切に、丁寧で確かな診療に努めております。

それらの診療に加え当院は、患者様の1日も早い回復や社会復帰に向けたリハビリテーション、頭部領域疾患の発症を未然に防ぐことを目的とした脳ドックにも力を注いでおり、予防医療・救急医療・一般医療・回復期医療と、幅広い医療機能を備えた専門病院です。また、他施設様からの患者紹介・検査依頼・転院依頼も積極的に受け入れております。これらの医療サービスを一貫してご提供できるよう、患者様を中心に、院内すべてのスタッフが専門性とチームワークを大切に、日々診療にあたっております。

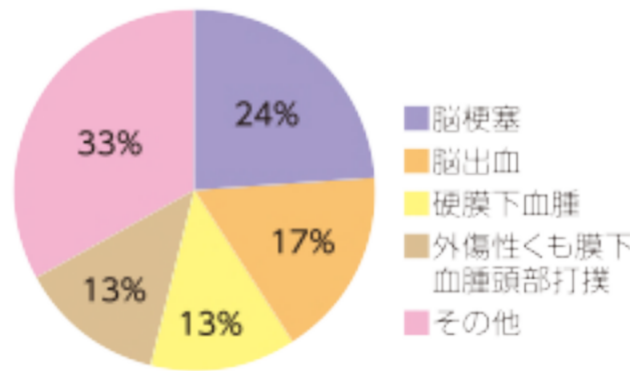
## 救急車の受入台数

※平成28年度 年間約400台

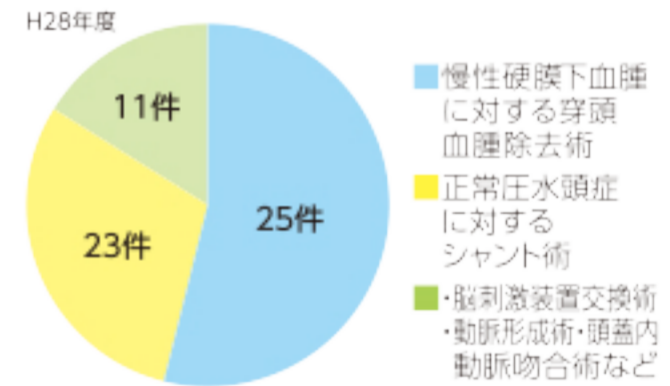
外来患者病名の内訳



入院患者病名の内訳



手術の内訳



患者様を中心に医療をチームでつなぐ

看護部

薬局(薬剤課)

検査課

医事課

栄養課

リハビリテーション課

地域連携室



## 看護部

私達看護部は、脳神経外科疾患を中心に急性期から在宅支援までの様々な段階の患者様への看護を行っています。患者様、ご家族様が安心して入院生活が送れるように患者様の視点に立ち、各部署との連携をはかり、患者様に寄り添い質の高い看護を行えるように、日々対応を心がけています。

また、地域医療に貢献できるように皆様との、信頼と安心をモットーに思いやりの心で患者様、ご家族に満足して頂ける看護ケアを目指し頑張っています。



## 薬局(薬剤課)

調剤業務、服薬指導業務、医薬品管理、医薬品情報の発信など様々な業務を行っています。患者様のお薬について、最適な薬剤が選択され、正しく使用され治療効果が得られているかなど、見極めることが薬剤師の仕事です。



## 検査課

CT(philips社製 16列)・MRI(philips社製 3.0T)・超音波・脳波などの検査業務を担当し、病状の早期発見や正確な診断に貢献できるよう取り組んでおります。安心で安全、かつ的確な検査を行うために、看護師と連携した検査運営、医師との双方向的な情報交換など、他職種間でのチームワークを大切に、業務にあたっております。



## 医事課

こんにちは、医事課です。皆さまが病院に来院され、最初にお目にかかりますのが受付の私たち医事課スタッフです。笑顔でお迎えし、わかりやすい言葉、温かい思いやりの心での対応を心掛けております。受付、ご案内の他に外来・入院の負担金の計算、会計、毎月の集計を行い、社会保険、国民保険などに患者様のレセプトを作成、請求を致します。また、皆様のカルテ管理も大切に行っています。



## 栄養課

「食は元気の源」をモットーに、患者様と食べ物を結ぶ架け橋となるように、他職種と連携を強め患者様が安心・安全に食事を摂り、食べることの楽しみを感じていただけるように、栄養課一同精進しています。



## リハビリテーション課

リハビリテーション課では、患者様が入院されてきた状態からより良くなって退院して頂くことを目標に日々リハビリを行っています。主治医の指示の下、食事による栄養管理状態、血圧等の全身状態のチェック、MRI・CT画像による診断を各部署と連携を取り合い、病院一丸となって患者様の社会復帰をサポートしています。



(脳リハ1、運動器1  
PT6名、OT6名、ST3名で行っています。)

## 地域連携室

地域連携室は、入退院の調整、家族相談などを行い、患者様とご家族様が安心して入退院できるよう支援しています。

入院中、退院後の生活への不安や悩みがございましたら、いつでもご相談ください。



## 「脳カフェ」のご案内

平成27年5月より新しい取り組みとして、「脳カフェ」という活動を開始しました。

この「脳カフェ」というのは、地域に向けた取り組みで、活動の内容としては、①医師による講演会②理学療法士、作業療法士による健康体操③言語聴覚士による口腔ケアの指導④管理栄養士による栄養指導⑤ケアマネージャーやヘルパーなどの各職員さんや民生員さんなどへ対する勉強会など、様々な内容をすべて無料で行っています。

活動方法は、熊本市内の地域包括支援センター(ささえりあ)が実施する、サロンや市民公開講座、家族介護者教室等に出向いて一緒に活動を行います。

平成28年末現在、10回の講演を行いました。参加人数は約10名から100名程まで幅広い人数に対して行っています。

地域の方々からは、「頭についての病気のことがよくわかった」

「病院には近寄りやすいイメージがあったが、講演を聞いて病院の先生が身近に感じられるようになった」「病気に対する予防について勉強できた」と、このような感想を多く頂いています。

今後も引き続き「脳カフェ」として地域の方々へ貢献していきたいと考えています。

開催する際は、是非、ご参加してみてください。



「認知症を正しく理解しよう」のテーマについて講演を行う冬田院長



作業療法士による「健康体操」で、脳と体を使った体操

## 広報分科会 美化清掃

### ぴかぴか運動(熊脳美化清掃)

毎週1回、清掃活動を行っています。

風が強く吹く日や雨が降った後など清掃しにくい時もありますが、通勤途中の方や地域の方々から、「ありがとう」「きれいになった」「お疲れさま」等のお言葉を頂きます。

私たちは、地域の皆様や当院を受診される方々が気分よく過ごされるように、本荘ぴかぴか運動と称し地域貢献につとめていきます。



## スポーツ部始動!

H29.2.19、H29.2.26に開催されました、熊本城マラソン・玉名市苺マラソンに参加しました(^^)熊本城マラソンには検査課から1名、苺マラソンにはリハビリ課から7名出場。

フルマラソン・10kmをなんとか完走することができました(\*^^)v沿道では多くの方々に応援され、パワーを頂きました。これを糧に今後も頑張っていきます。

エイエイオー(´ー´)ノ



### 編集後記

今回、新しく広報誌を制作する事となり、最初は手探りの状態でした。各部署より掲載する原稿や写真が集まり、広報誌が少しずつ形になっていく...これぞチーム医療の原点だと感じました。今後も職員一丸となって、地域の皆さまに熊本脳神経外科病院での取り組みを、広報誌を通じて発信していきます。どうぞよろしくお願い致します。



医療法人 熊愛会 (ゆうあいかい)

熊本脳神経外科病院

〒860-0811 熊本市中央区本荘6丁目1-21

Tel.096-372-3911 Fax.096-362-5135

E-mail:info@knh.co.jp

http://www.knh.co.jp 詳しい内容はホームページをご覧ください。

熊本脳神経外科病院

検索

